



生協ひろしま

CSR Report 2019

2018年度の事業・社会・環境についての報告

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を實現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



「CSR Report 2019」の発行にあたって



協同の力で
持続可能な社会づくりに
貢献していきます。

生協ひろしま 専務理事 横山 弘成

2018年7月に発生した西日本豪雨は広範囲に及ぶ甚大な被害をもたらした。全国で237名の方がお亡くなりになりました。中でも広島県の人的被害が最も多く、115名の方が豪雨災害の犠牲となりました。災害から1年が経過した今でも被災地では多くの方が仮設住宅やみなし仮設住宅などで不自由な生活を送られています。改めて災害でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、一日でも早く被災地が復興できますよう、行政や地域と連携し、被災者の方々に寄り添った支援を継続してまいります。

2015年の国連総会で持続可能な世界を実現するための開発目標（SDGs）が採択されました。SDGsの本文には協同組合の役割と期待が明記されています。世界の紛争、貧困、格差、環境問題など世界を変える17の目標の達成に向け生協の活動を通じて取り組んでまいります。

2017年7月7日、国連加盟国の約6割に当たる122カ国が賛成し、核兵器禁止条約が採択されました。しかし核保有国やその同盟国は条約に反対し、核兵器禁止条約に批准した国は23カ国にとどまっています。条約の発効には50カ国の批准が必要です。核保有国のリーダーの心を動かすには市民レベルでの運動が不可欠です。「ヒバクシャ国際署名」の取組みを幅広く推進する中で、市民レベルからの「核兵器禁止条約締結・戦争と核兵器のない平和な世界の実現」という「ヒロシマの願い」を発信し続けます。

生協ひろしまは組合員と共に持続可能な社会の実現に取り組んでいます。本レポートでは2018年度の活動や取組みをまとめました。皆様からのご意見やご提案を頂きながら地域社会により貢献できる組織を目指して取り組んでまいります。

生協ひろしまは SDGs (持続可能な開発目標) について学び、
広げ行動していきます。

SDGsとは

2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に2016年から2030年までの国際目標が記載されました。目標は持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないこと (leave no one behind) を誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



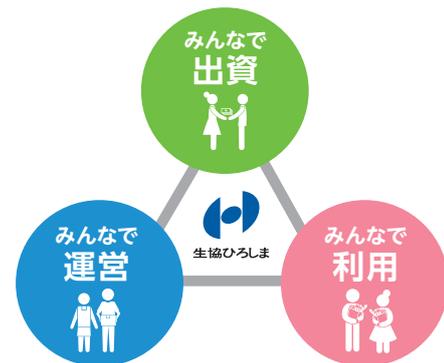
国連加盟国がSDGsを採択した際、開発目標を達成するために連携するパートナーとして協同組合が選ばれました。持続可能な開発目標 (SDGs) には、生協の事業と活動に強い関わりを持つ目標があります。生協ひろしまではSDGsの目標達成に向けて、さまざまな取組みを進めています。

生協ひろしま基本理念

私たちは、協同の力で、より豊かなくらしの創造と平和な社会づくりに貢献します。

生協とは

生協はくらしを豊かにしたいという組合員の願いを実現するためにみんなが話しあい、力を合わせて商品を開発し、商品やサービスを通じてくらしの見直しに取り組む消費者団体の協同組織です。一人ひとりには弱い立場の私たちもみんなで力を合わせれば大きな力を生み出すことができます。みんなの協力で作られている生協は組合員自身が出資し商品を利用し、自分 (組合員) たちの手ですすめていく組織です。



地域・社会貢献



西日本豪雨災害

2018年7月に発生した西日本豪雨は237名もの尊い命を奪う大災害となりました。中でも広島県では115名の方が豪雨災害でお亡くなりになり、最も大きな人的被害を受けました。



支援物資を供給

行政の要請に応じて、被災地に飲料水などの物資を供給しました。生協の配送インフラとネットワークに行政からも期待がよせられています。



自治体と災害協定を締結

「災害時における生活関連物資の供給に関する協定」を県内15市町と締結しました。

協定締結自治体 (2019年3月末現在)

自治体名	締結日	自治体名	締結日
広島市	2011年 3月16日	海田町	2017年 4月28日
尾道市	2011年10月27日	坂町	2017年11月 6日
呉市	2012年 3月26日	熊野町	2017年12月 4日
三次市	2012年 6月25日	廿日市	2018年 2月 1日
東広島市	2013年 4月24日	福山市	2018年 5月 9日
三原市	2014年 1月17日	北広島町	2018年 8月22日
江田島市	2016年 1月15日	大竹市	2018年 9月 7日
府中町	2017年 3月23日		

災害支援ボランティア

ボランティアセンターに運営支援者を派遣し、支援ボランティアの受け入れや振分けを行いました。生協ひろしま職員も災害支援ボランティアとして支援活動に参加しました。



災害支援募金

西日本豪雨災害支援募金に取組み、組合員から23,804,805円もの募金が寄せられました。募金の内1,500万円を広島県に義援金として、残り8,804,805円を日本生協連を通じて被災県に義援金・支援金としてお渡ししました。



お買物を支援

宅配事業部では被災された組合員を対象に個配配送手数料を一定期間無料で配送を行っています。店舗では仮設住宅に移設店舗の配送ポイントを増設し、被災者のお買い物支援を行っています。



車両の入れないエリアを歩いて配送する担当者。

地域・社会貢献



広島お好み焼き隊を派遣

東日本大震災、熊本地震、九州豪雨災害の被災地へ組合員ボランティアと職員による「広島お好み焼き隊」を派遣。現地の仮設住宅等をめぐり、お好み焼きを振る舞いながら顔の見える支援を継続しています。



くらしの助けあい

活動時間は延べ**7,017.5時間**

「くらしの助けあい」は組合員同士がお互いさまの気持ちで助けあう活動です。2018年度の援助希望者は延べ1,116名、活動した組合員は1,002名、活動時間は7,017時間でした。



寄ってこーや

延べ**1,747名**が参加

だれもが気軽に集え、コミュニケーションが広がる地域の居場所作りに取り組んでいます。2018年度は4会場170回のイベントを開催し、延べ1,747名の方が参加されました。



安東ふれあい食事会

月に1回コープ安東で、一人暮らしのお年寄りをお招きして料理と一緒に作り、おしゃべりしながら食事する「安東ふれあい食事会」を開催しています。地域のひとりぼっちをなくそうとはじめられた取組みは22年目を迎えました。



フードバンクへ食品を提供

店舗から**340kg**の食品を提供

店舗の賞味期限が近づいた商品やパッケージのへこみなどで販売できない商品をフードバンク「あいあいねっと」に提供しています。提供した食品は点検整理され必要な人や福祉団体へ無償で提供されています。



看護と介護の連携で迅速な対応が実現

広島中央保健生協の「訪問看護ステーションコープはつかいち」が生協ひろしまの福祉廿日市事務所と同じフロアに開設されました。同じ建物内で業務を行うのは全国でもめずらしい取組みです。看護と介護の連携で迅速な対応が実現しました。



「はじめてばこ」で子育てを応援

11,927世帯にお届けしました。

広島県、テレビ新広島と連携し、広島で生まれた赤ちゃんをご家族に協賛企業からのプレゼントが入った「はじめてばこ」をお届けしています。はじめての肌着やはじめて描いた絵など、思い出を詰め込むことができるBOXです。



2018年度は県内出生数の半数を超える世帯にお届けしました。

ちゅきちゅきCLUB

延べ**45,000名**が登録

妊娠中からお子様がいっぱいになるまでの配送手数料が最大2年間無料、生協ひろしまの人気商品をプレゼントなど、子育て中のママを応援する子育て支援サービスを行っています。



ちびっこひろば

延べ**83回**開催、**700名**が参加

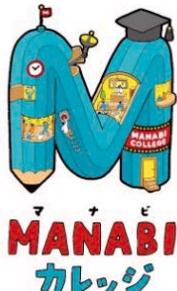
店舗ではお母さんや子どもたち同士が交流できるコミュニケーションスペース「ちびっこひろば」を定期的に開催しています。



MANABIカレッジ

延べ**335講座**に**1,422名**の学生が受講（体験講座含む）

「MANABIカレッジ」とはボランティア活動や地域貢献などプラチナ世代が第2の人生に一步踏み出すための大人の大学です。



ひろしまGENKI体操

認知症予防と健康寿命の伸長を目的に、広島大学と生協ひろしまが協力し、運動と脳トレを組み合わせたプログラム「ひろしまGENKI体操」開催しています。



呉市と連携し、毎週1回呉市首戸町で開催されている「ひろしまGENKI体操」

多様な人材の登用

障がい者雇用率**2.4%**（法定雇用率2.2%）知的障がいがある人の自立をサポートし、社会参加できる環境をつくるため、特例子会社ハートコープを設立するなど、障がい者が共に働き、共に生きることが出来る就労形態の実現に向け、取り組んでいます。



誰かの笑顔につながる「エシカル消費」

エシカルとは英語で「倫理的」という意味です。地域や社会、環境、人々に配慮したモノとサービスを買うことをエシカル消費といいます。貧困、児童労働といった社会問題や環境問題など一見、私たちの買い物とは無関係な商品生産の裏側で起こっている問題を知り、社会や環境に配慮した買い物がエシカル消費です。生協ひろしまではエシカル消費につながるお買い物の提案を行っています。



エシカル消費の一例

社会



CO・OP×レッドカップキャンペーン
対象商品を1点購入で1円が国連WFPに寄付され飢えに苦しむ子どもたちへ学校給食を届けるために使われます。



人々



ピンクリボン運動
対象商品を1点購入で1円が認定のNPO法人J.POSH(日本乳がんpinkリボン運動)に寄付されます。



環境



海の資源を枯渇させないよう漁期や漁獲量などを制限し、持続可能な漁業で獲られた水産物に付けられた認証マーク

2018年度主なエシカル消費の取組み

取組み	協力金	内容
	737,457円	対象商品1点につき1円~2円を積み立て、サンゴの植え付けなど海の生態系を守る活動に使われます。
	131,892円	うなぎ蒲焼1パック購入につき3円を積み立て、うなぎの稚魚の放流や研究活動に活用します。
	483,701円	コープの洗剤対象商品1点購入につき0.5円を積み立て、環境保護団体による環境保全活動に使われます。

産直活動

自給率の向上と持続可能な農業、環境保全を目的に生協ひろしま産直3原則をベースにした産直(産地直結)の取組みを行っています。2018年度は新たに4品目を産直商品として取扱いを始めました。



生協ひろしま 産直3原則

- ①生産者・生産地が明確
- ②栽培方法・肥育方法が明確
- ③組合員と生産者が交流できる

2018年度に産直商品となった商品

	商品名	生産者
7月	若採りみずな	広島市活力農業グループ
8月	北海道産じゃが芋【とうや】	JAとうや湖馬鈴薯部会グリーン班
11月	郡楽トマト	JAやつしろ
2月	はるみ	濱野農園グループ

農業体験

組合員・職員の米づくりやとうもろこしの植え付け、収穫など農業体験を企画しています。生産者との交流を通じて、農業の大切さを学び、地産地消を広げる活動を行っています。



産地・工場見学

日頃利用している商品の産地や工場の見学をコープ委員会が企画し、地域組合員と商品のこだわりを学び、生産者と交流を行っています。2018年度は21の委員会で15カ所の産地・工場の見学が行われました。



職員の商品自主セミナーを開催

組合員にお届している商品について、自分の目で見て触れて学ぶ「職員の商品自主セミナー」を年間を通じて開催しています。職員と生産者が意見交換できる貴重な場となっています。



食の意識調査を実施

組合員の食に対する意識調査を実施しました。現時点で、組合員が不安に思っていることを分析し、科学的リスクと比較しながら、食の活動や情報提供に生かしています。



意識調査での組合員の不安

- 1位 食品添加物
- 2位 農薬
- 3位 食品偽装

意識調査からわかった科学的リスクとの差

科学的リスク

- 1位 塩分・糖分の摂りすぎ
- 2位 窒息事故(誤えん)
- 3位 食中毒

リスクコミュニケーション

広報誌コープぱれっとでは毎月、食に関するリスク評価、リスク管理について情報を発信しています。組合員と情報を共有し、意見交換を行うリスクコミュニケーションに取り組んでいます。



ピースナイター2018



8月、**11回目**となる
ピースナイターを開催。

広島東洋カープ・株式会社中国新聞社・公益財団法人広島平和文化センター・広島電鉄株式会社・株式会社中国放送・生協ひろしまが共催し、ピースナイター2018を開催。観客がピースナイター新聞を掲げ、平和と核兵器廃絶の願いを発信しました。

ヒバクシャ国際署名

2019年3月末現在で

119,039筆集まりました。

店舗の周年祭などでは、署名活動を行いました。



子ども碑めぐりガイド



3名の
子ども碑めぐりガイドが誕生。

養成講座を開催し、小学5年生から高校2年生までの3名の碑めぐりガイドが誕生しました。主に子どもを対象とし、被爆の実相を伝えるために平和公園内の碑を案内しています。2018年度はフィールドワークを2回行いました。

平和募金

2,781,984円集まり、

平和活動の資金として活用しました。募金から平和活動および被爆者支援活動を行っている**5団体**に**463,000**円を贈呈しました。



碑めぐりガイドの会

30周年を迎え、
記念行事として朗読劇を開催しました。

2018年度は、**166**の学校や団体、
延べ**14,321**名に碑めぐりを行いました。



虹のコーラス

毎月6日を「折鶴の日」として平和記念公園内の原爆の子の像前で歌声による祈りを捧げています。

2019年3月末で延べ**282**回の開催となりました。



折り鶴昇華再生事業

広島平和記念公園に捧げられた折り鶴を昇華再生する事業に取り組んでいます。

2018年度は

538kg 約**448,161**羽が



折紙やカレンダーに生まれ変わりました。また、折り鶴解体作業を体験するつどいが**17**カ所で開催され**443**名が参加しました。

ピースアクション

ピースアクションinヒロシマには全国の
生協組合員約**1,200**名が集まりました。

ピースアクションinナガサキに
広島から**4**名参加。沖縄戦跡・基地めぐりに

広島から**7**名参加。
平和を創造するために組合員とともに学んでいます。



平和のつどい

10カ所で開催 **271**名が参加

毎年行っていた市民平和行進は平成30年7月豪雨災害により中止となりました。地域の組合員がユニセフの学習や碑めぐりなどを行い、平和について学びました。



Hei-和Café

3カ所で開催 **46**名が参加

地域の組合員が集い、お茶を飲みながら平和や憲法について気軽に語り合いました。



環境

リサイクル推移

項目	回収形態	回収実績量 (t)					再生品
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
飲用パック 	支所・店舗	99.7	77.3	74.9	81.2	66.8	コアノンロール 
たまごパック 	支所・店舗	47.8	49.1	49.1	46.2	48.0	たまごパック 
発泡トレイ 	支所・店舗	20.8	21.3	18.9	17.8	17.4	トレイ 
透明トレイ 	店舗	5.2	5.0	5.2	5.7	5.5	トレイ 
シッパー内袋 	支所	54.5	47.6	43.5	44.7	45.3	再生フィルム、文房具 
チラシ類 	支所	4,681	4,684	4,737	4,745	4,857	チラシ 
ペットボトル 	店舗	24.5	28.3	20.7	20.9	26.0	プラスチック原料 
合計		4,933.5	4,912.6	4,949.3	4,961.5	5,066.0	

レジ袋削減を推進

マイバック持参率 **88.4%**

広島県との協定に基づき2009年より全店舗でレジ袋の配布を停止し、有料化を行っています。2018年度の持参率は88.4%でした。



環境学習会

年2回、組合員を対象とした環境学習会を開催しています。世界で起きている環境問題や、私たちが住む地域の環境の変化、再生可能エネルギーの現状やCO₂削減にむけた家庭での取り組みなど組合員と交流しながら環境について学んでいます。



リサイクル

4,857tのチラシを回収

宅配事業では前週に配布した商品カタログやたまごパック、飲用パックなどの回収に取り組んでいます。チラシ類は前年比102.4%の4,857tを回収しました。



26tのペットボトルを回収

各店舗ではペットボトルや透明トレイ、発泡トレイ、たまごパックなどの回収を行うリサイクルコーナーを設置しています。ペットボトル前年比124%の26tを回収。プラスチック原料などに再生再利用されています。



生き物調査

「米づくり」の農業体験の一環で田んぼやその周辺の「生き物調査」を行っています。多様な生態系を維持していくための生産者の努力や水環境の大切さについて、親子で学ぶ取り組みを行っています。



省エネ対策トライアル

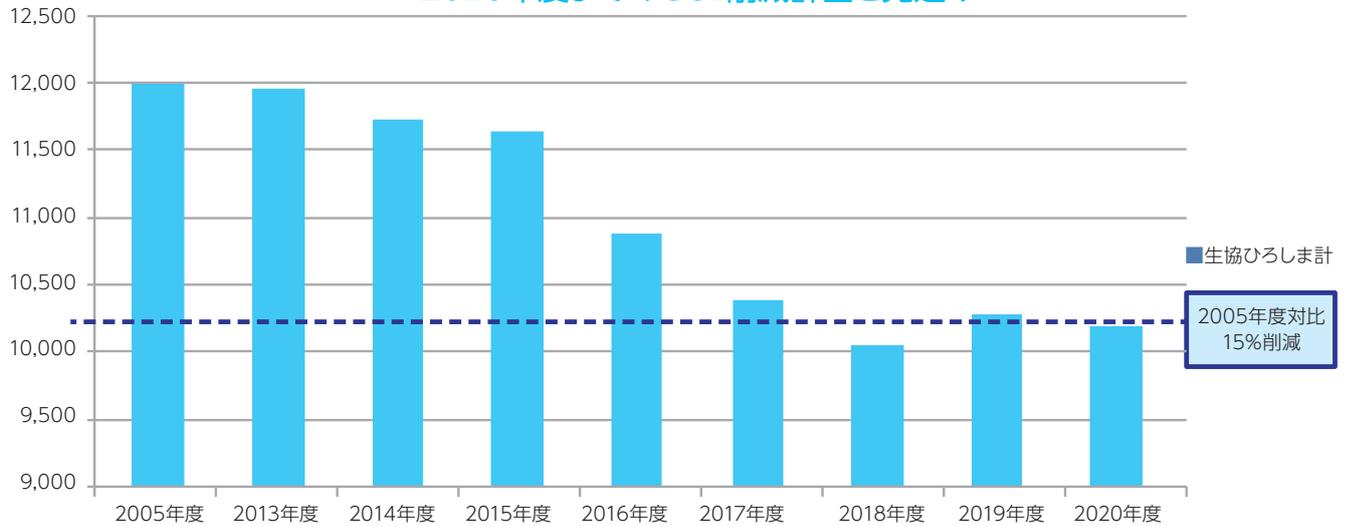
家庭でのエネルギーの使用実態や省エネ行動の取り組みと効果を報告する「省エネ対策トライアル」を組合員に呼びかけ取り組んでいます。2018年度は65名の組合員が参加しました。



2020年度までのCO₂削減計画に取り組んでいます

2020年度までCO₂排出量を2005年度の約15%の削減にむけて取り組んでいます。2018年度時点で2005年度比で16.3%まで削減し、2020年度までのCO₂削減計画も達成見込みとなっています。現在、2030年度までにCO₂排出量を2013年度の40%削減に向けて計画を策定しています。

2020年度までのCO₂削減計画と見込み



電気使用量を7.9%削減しました

項目	使用量	単位	前年対比
電気	16,207	千kWh	92.1%
都市ガス	37,808	m ³	95.0%
LPガス	29,657	m ³	91.0%
水道	68,088	m ³	94.4%
灯油	398	ℓ	92.1%
車両(軽油)	596,570	ℓ	89.8%
車両(LPG)	29,618	ℓ	96.1%
車両(ガソリン)	256,755	ℓ	99.9%
注文書等商品案内	6,084	t	98.4%
シッパー内袋	45.3	t	101.3%
レジ袋	3.8	t	97.4%
トレイ	11.0	t	112.2%
ラップ(インスタアー)	9.2	t	98.9%
ドライアイス	345	t	24.7%

環境保全コスト

生協ひろしまでは環境保全を効果的に推進していくため環境保全や負荷にかかる費用と効果の進捗状況の記録を取り把握を行っています。



(単位: 千円)

主な取り組み内容	16年度	17年度	18年度	前年対比
浄化槽の点検、グリストラップ清掃	3,446	3,163	3,391	107.2%
紙類等のリサイクル	269	228	233	102.2%
生ごみ、廃食油、魚残渣のリサイクル	5,183	4,763	5,136	107.8%
一般・産業廃棄物の処理・処分、ごみ袋	32,461	32,562	22,883	70.3%
害虫駆除	2,940	2,716	2,480	91.3%
再商品化委託料	2,887	3,256	3,256	100.0%
合計	47,186	46,688	37,379	80.1%

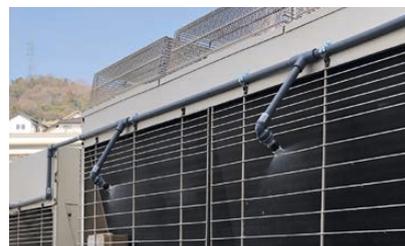
事業による環境負荷の軽減

各事業所の空調の適正温度を設定し、不要な照明の消灯など省エネマニュアルに沿った運用管理や機器の更新等による電力使用量の削減に取り組んでいます。



省エネチューニング

省エネコンサルタントと連携し、店舗の各機器の省エネチューニングを行い実施後の効果測定と実績管理を行っています。



吸気量・熱交換効率を回復させるため室外機に付着した汚れを除去。

電気自動車の導入

生協ひろしまの福祉事業部に加え、グループ会社のコープサービスにも電気自動車を導入しました。走行中のCO₂排出量削減に努めています。



組織概要

(2019年3月31日現在)

名称 生活協同組合ひろしま
 創立 1984年10月(昭和59年)
 本部 広島市西区草津港2-8-42

役員 理事長 恵木 尚
 専務理事 横山弘成
 常務理事 宗本干城
 常勤理事 重津光彦
 高浦美穂
 高橋房大

活動エリア 広島県全域
 (定款)
 組合員数 398,784名
 県内加入率 32.2%

出資金額 130.2億円
 供給高 418億9,009万円
 福祉事業収入 13億2,092万円
 その他事業収入 13億7,573万円

職員数
 総合職員 589人
 専任職員 281人
 パートナー職員 562人
 福祉専門職員 183人
 ヘルパー登録者 396人

組合員数

398,784名

(計画比98.6% 前年比99.5%)

出資金

130.2億円

(計画比99.4% 前年比99.4%)

2018年度事業状況

※数字は2019年3月末現在

供給高 418.9億円 (計画比100.0% 前年比100.3%)

共同購入他 335.6億円 (計画比 99.8% 前年比100.3%)

店舗 83.3億円 (計画比100.9% 前年比100.1%)

移動店舗(ぶちこーぷ) 4台稼働中

廿日市市・佐伯区・西区・安佐南区・安佐北区・東区・安芸区・安芸高田市・呉市・大竹市など266ポイントを配送

供給高 0.95億円 (計画比101.8% 前年比103.1%)

福祉事業 13.2億円 (計画比 94.6% 前年比 99.1%)

eふれんず(インターネット注文)

供給高 35.04億円 会員数 54,685名
 (供給高に占める割合8.3%)

夕食宅配(思いやりコープ弁当)

平均食数 3,304食/日 会員数 18,438名

供給高 5.51億円
 (前年比103.9%)

新聞で紹介された (2018年度新聞記事) 生協ひろしまの取り組み



5月28日	熊本地震支援「広島お好み焼き隊」が出発	テレビ新広島
6月13日	第34回通常総代会	中国新聞
8月1日	ピースナイター2018を開催	中国新聞
9月9日	碑めぐりガイド30周年	中国新聞
9月12日	九州に広島お好み焼き隊が出発	中国放送
10月2日	福島へお好み焼き隊が出発	NHK
11月24日	みやぎ生協炊き出し支援	テレビ新広島、HTV、NHK、RCC
12月26日	古民家再生ショールームCACAWARIオープン	中国新聞
1月10日	2019年度幹部人事	中国新聞
2月5日	エフコープ被災地支援	テレビ新広島、HTV、NHK、RCC
2月12日	平和講座	広島ホームテレビ
3月20日	福島県富岡町の桜を植樹	広島ホームテレビ
3月20日	天応へ移動販売車	広島ホームテレビ

「声」を届けました。

【私もひとこと】

●3,018件 ※注文書での受付

【あなたの声いかします】

●365件 ※店舗で受付

【こーぷぱれっとへのお便り】

●1,431件

【ホームページ】

●アクセス件数/394,842件

●メール/548件

「お互いさま」の輪

【くらしの助けあい】

(2018年4月～2019年3月)

●活動協力金/1,812,446円

●総活動時間/7,017.5時間

●援助希望者/延べ1,116名

●活動者/延べ1,002名

協同の心を届けました。

【募金等】

●平和募金 2,781,984円

●障がい者支援募金 1,154,300円

●ユニセフ募金 495,247円

●ミャンマー指定募金 2,000,000円

●西日本豪雨災害支援募金 23,804,805円

●北海道胆振東部地震緊急支援募金 11,739,826円

●災害復興支援・応援積立 2,965,715円

●もずく基金 737,457円

●コアノンスマイルスクールプロジェクト

11,628,750円

●うなぎ協力金 131,982円

●コープの洗剤を利用してプチ貢献キャンペーン

483,701円

【署名】

ヒバクシャ国際署名 119,039筆

小規模作業所国会請願署名 11,165筆

2018-2019News topics

協同の力で被災地を支援

西日本豪雨の被災地、坂町や天応地区の仮設住宅で、みやぎ生協、岩手生協、エフコープによる炊き出し支援が行われました。各生協の郷土料理が被災者に振る舞われ、同じ被災地からの支援に共感と交流の輪が広がりました。



ひろしまGENKI体操

認知症予防と健康寿命の伸長を目的に広島大学と協力し、運動と脳トレを組み合わせたプログラム「ひろしまGENKI体操」を始動。呉市と連携し毎週1回音戸町で開催しています。行政からの要請もあり、他のエリアでも取り組みを広げていく予定です。



編集方針

生協ひろしまは2006年に「企業の社会的責任」を意味するCSR経営を進めることを宣言しました。事業と組合員活動から成り立つ生協ひろしまの取り組みをステークホルダーの皆さまに報告いたします。この報告書は生協ひろしまの基本理念に則して推進している生協ひろしまの事業や活動、その進捗状況を報告することを基本とします。

発行 行：2019年7月
 発行 者：生活協同組合ひろしま
 〒739-0495
 広島県廿日市市大野原1-2-10

問い合わせ先：総合企画室
 TEL 0829-50-0409
 FAX 0829-50-0352
 URL <http://www.hiroshima.coop>
 E-mail hcoop@mail.hiroshima.coop

ホーム
 ページ



フェイス
 ブック



本レポートは生協ひろしまホームページでも公開しています。—— http://www.hiroshima.coop/about/csr_report/index.html